

母と子のにわ

－利用者のみなさまと母子医療センターをつなぐ－

第 37 号

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

2017 Winter

- 1 名称が変わります、facebook をはじめました
- 2 がんばり屋さん
- 3 食育レシピ本を出版しました、その他のイベント報告
- 4 多胎フェスタを開催しました、センターからのお知らせ



♡ 名称が変わります

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センターは、平成29年4月1日から、地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センターに名称を変更いたします。英語名は、Osaka Women's and Children's Hospital になります。

日本語名・英語名ともに、一般的で、簡潔な名称にいたしました。名称変更を一つのきっかけとして、当センターの新たな歴史を刻んでいきたいと考えています。

名称変更について（ご案内）

当センターは、平成29年4月1日から下記のとおり名称変更します。

変更前



変更後

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

♡ Facebook を始めました

大阪府立母子保健総合医療センターでは、平成28年10月11日から、当センターに関する様々な情報の発信を行い、皆さまに当センターのことをよく知っていただくことを目的として、Facebook ページ（公式 Facebook）を始めました。

ご覧になられたら、是非「いいね！」ボタンをお願いいたします。



【公式 Facebook URL】 <https://www.facebook.com/mch.pref.osaka>

なお、公式 Facebook は、大阪府立母子保健総合医療センターホームページトップページにある右記バナーからもご覧になれます。



また、当センターでは、ソーシャルメディアを有効に活用していくため、様々なガイドラインを策定しています。その中の1つとして、ユーザー間のより良いコミュニケーションを実現するために「コミュニティ・ガイドライン」を策定しています。公式 Facebook 及びセンターホームページにも掲載していますので、ご利用前には是非ご覧ください。

（総長 倉智 博久）

がんばり屋さん

横田 卓真 くん

僕は、1998年10月27日に生まれました。生まれてすぐに母子医療センターに運ばれて来ました。すぐに食道の手術をしなければいけない状態でした。僕の病気は、食道の病気が4つと十二指腸閉鎖症とすいたんかん合流異常症がありました。

そして、2年半前には、右胸腔内胃縫縮術という世界でもめずらしい手術をしました。この手術は、メリットは何でも口から物が食べられるようになる事で、デメリットは手術の後しばらくは寝たっきりになる事と呼吸器を付ける事になるといった事でした。手術日は決まっていたのですが、成功率が50%以下での手術だったみたいで、先生方は僕が「手術を受けたくない」と言ってくれたらいいのになあと考えていたみたいです。でも僕は、先生を信じようと思い「先生を信じているから手術をしたい」とお願いしました。朝一番で手術室に入り、夜暗くなってから手術室を出て来ました。先生方は、手術後しばらくは寝たっきりになると思っていました。でも、日に日に良くなって歩ける姿を見て、拍手をしてくれました。それから順調に物が食べられるようになり元気に過ごせています。

季節の変わり目になると必ず調子が悪くなり、点滴入院の繰り返しでした。小児内科では、栄養と成長を見てもらっています。僕は、口からほんの少ししか食べられなくて胃ろうや腸ろうにチューブを付けて栄養を取っていました。でも、胃縫縮手術をしてからは、口から何でも食べられるようになり、体力もつき、学校も院内学級ではなく地元の学校に通っています。それと口唇口蓋裂もあり、今、矯正の治療をしています。

まだまだ通院や手術の治療をしなければいけないけど、一つ一つあせらず病気と付き合いおうと思います。お母さんは、僕が小さい頃、怒るとすぐに病院へ帰れて言っていました。僕はいくら怒られてもお母さんが好きやのによって小学校の頃まで思っていました。今は、ただのおばさんになっています。そんなお母さんですが、僕の生まれた時からの話をしてくれます。そして、1人で泣いて、笑って、また泣いて、本当に鬼ババアみたいな顔をして号泣しています。お母さんは、怖がりで痛がりですが、僕の頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうとしています。だから、僕はお母さんに見せつけるように辛い治療を頑張ろうと思います。お母さんも持病があるのに僕のことを一生懸命やってくれます。だから僕も一生懸命頑張って治療をしていこうと思います。先生方も僕の病気の事を話し合ってくれているので、僕もそれに応えて治療を受けていきたいと思っています。

「早く名前を付けないとベビーのままに亡くなるかもしれません。可哀想だから早く名前を付けてください。」と言われていた僕ですが、今18歳になり、マイペースで頑張っています。本当にここまで成長させてもらった先生方やお母さんに感謝の気持ちで一杯です。僕の将来の夢は、医療の道に進む事です。僕が先生方にしてもらったように、患者さんに耳をかたむけ、患者さんが安心出来るような治療が出来る人になりたいです。まだ治療をしなければいけない状態ですが、僕は病気を言い訳にしないで、頑張って医療の道へ進みたいです。進みます。

いつもお母さんが、「ありがとうという感謝の気持ちを忘れたらダメやで」と言っている意味が少し分かりました。しんどくても明るく接して笑わせてくれたお母さんにありがとうと感謝の気持ちで一杯です。もちろん、母子医療センターのドクターや看護師さんにも感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

募集中

がんばり屋さんのコーナーでは、登場してくださる方を募集しています。母子医療センターで治療を受け、現在各方面で頑張っている方をご紹介します。自薦・他薦は問いません。詳しいことは、母子保健調査室までお問合せください。

電話：0725-56-1220（内線3241）

E-mail：kikakushi@mch.pref.osaka.jp



食育レシピ本を出版しました

栄養管理室は、開院以来、医師と手を結び、「食と栄養」の観点から、妊婦の健康と胎児、小児の成長発達を支えています。

当センターの特性上、私たち管理栄養士は、様々な疾患を持つ妊婦さんや子どもたちの栄養管理に携わってきましたが、どのような場合においても、栄養バランスの良い安全でおいしい食事を家族で楽しく食べていくことが食育の基本であり、人間が健やかに生きていくための源だと思っています。そのためは、「食と栄養」の正しい知識とスキルを身につけて、適切な食生活を送ることが重要です。

いまの日本では、インターネットなどが発達し、食材や料理、栄養についての情報があふれており、だれでも簡単に手に入れることができます。しかし、それらの中には医学的に正しくないものも多く存在し、間違った知識を身につけてしまったり、どの情報が正しいのか迷ってしまうことも多いでしょう。そこで今回、栄養管理室が中心となって妊娠中から子育て中のご両親のための、医学的・栄養学的に正確な教科書として、「こどもの心と体の成長・発達によい食事」というレシピ本を作りました。

このレシピ本は子どもの成長段階別に、「妊娠期・乳児期編」「幼児期編」「学童期・思春期編」の3部構成となっており、レシピ、料理に関するミニ知識、さらに栄養や発育に関する正しい医学的情報をコラムとして載せています。

レシピに関しては、栄養管理室の職員が、すべて実際に作って撮影し、それぞれのステージ別での適量を実際の献立で示し、その年代の標準の量が一目で分かります。また当センターで実際に提供しているものも含め、栄養バランスの整った料理をたくさん載せています。

ミニ知識には、食材の切り方、だしのとりかた、バランスのよいお弁当を作るコツなど、毎日の食生活ですぐに使える情報を載せています。

コラムでは、【葉酸とサプリメント】、【便秘】、【食物アレルギー】など、妊娠中や子育て中にぜひ知っておいて欲しい情報を、当センターで活躍している医師やゆかりのある医師に、コラムの形で読みやすく執筆してもらいました。

この3冊で、すべての成長段階での子どもの「食と栄養」に関する正しい知識を得ることができます。出産祝いなどのプレゼントにも、ぜひおすすめです。

大型書店、またはインターネットで【株式会社 金芳堂】のホームページでお買い求めいただくことができます。また当センター内地下1階売店【しらゆり】及び1階コンビニにも置いてありますので、ぜひ手にとってご覧下さい。

(文責 栄養管理室 副室長 西本 裕紀子 / 加嶋 倫子)



こどもの心と体の成長・発達によい食事

こども病院の医師と管理栄養士による食育レシピ

①妊娠期・乳児期 ②幼児期 ③学童期・思春期

監修：大阪府立母子保健総合医療センター

出版社：金芳堂 定価：各 2,000 円+税

その他のイベント報告



2016.11.12(土)

プラネタリムの上映会を行いました。



2016.12. 9(金)

センタークリスマス会を開催しました。



2016.12.22(木)

セラピードッグがやって来ました。



多胎フェスタを開催しました



当センターは、多くの多胎妊娠・分娩を専門的に取り扱っている施設で、年間約100件の多胎分娩があります。専門的な施設であるからこそ、多胎児を安心して産み育てることができる環境を整え、地域と連携を図り、支援の輪を広げる活動が必要であると考えています。10年前から、地域の多胎育児サークル（和泉市：さくらんぼ、堺市中区：ツインエンジェル、岸和田市：ぐりぐらくらぶ）と協力して、毎年秋に多胎バザーのイベントを開催しています。多胎児の場合、同時期にたくさんの育児用品が必要になりますが、その一方で不要になるのも同時期です。多胎の家族同士で育児用品を安く譲ってもらったり、物だけでなく育児情報の交換をしたりと、当センターで出産した多胎の患者さんの交流の場として始まりました。毎年このイベントを心待ちにしている

方も大勢います。

「多胎フェスタ 2016」は平成 28 年 10 月 22 日（土）に開催しました。今年から、多胎の患者さんやそのご家族の方だけではなく、他院で妊婦健診を受診している方や、これから妊娠出産するプレママ・プレパパ、おじいちゃん・おばあちゃん、どなたでも参加できるようにしました。また、多胎育児について、広く皆様に知ってもらえるイベントとするため、協賛企業を募集しました。子育てを応援する企業（ハーゼスト、ライオン、サントリー、ナチュラルサイエンス、ファイテン、セブンイレブン）6社から協力を得ることができました。多胎バザーに加え、交流カフェ、乳幼児からの予防歯科についてのセミナーや育児に深く関わる「お水」の大切さセミナー、ベビー&マタニティーのスキンケア製品や肩こりにきくテープやクリーム等の製品の展示やサンプルの無料配布など様々な催しが行われました。来場者は例年の 2 倍の約 600 人の方々がご来場し、多くの笑顔であふれる盛大なイベントとなりました。



（文責 母性東棟 飯野 江利子）

院内でのスマホ・タブレット 端末のご利用について

Wi-Fi での利用はできません
(Wi-Fi 設定をオフにしてご利用ください)



• モバイル Wi-Fi ルーター (Pocket Wi-Fi)、携帯電話のデザリング機能は、使用できません。

• 音声が漏れるなど、他の患者さんに迷惑をかけるような使用はできません。

ご協力をお願いいたします。

ゆるキャラグランプリ

2016

応援ありがとうございました!

最終順位は、

総合 **331** 位
(1,421 件中)

企業 **130** 位
(579 件中)

獲得票数は、**6571** 票でした!



モコニヤンの LINE LINE スタンプ販売中!



QRコード、または
クリエイターズスタンプから
「モコニヤン」で検索してね!

基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- 地域の保健医療機関と連携して母子保健医療を推進します
- 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840

電話・0725-56-1220

FAX・0725-56-5682

<https://www.mch.pref.osaka.jp/>